

法人取得

通算二十九回

## 第九回通常総会無事終わる

理事長 隅 一 清

今年も総会の時期がやつてきました。

昨年と同じ池尻のがやがや館で開くことにし  
て準備を進めてきました。

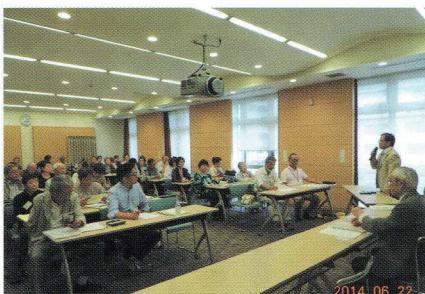
昨年は会場が手狭だったので、今年は三階の  
九十名入る会場を確保出来ました。  
しかし、机、椅子などは、自分達で倉庫から  
出してセッティングしなければならず、一苦  
労でした。高齢化が進み、若い担い手の少な  
い当会では、ひと仕事です。

例年通り一時間前に別室で理事会を開き、  
新しい理事さんも交えて、総会の流れを説明  
して、ご協力頂く様にお願いして、午後一時  
から第九回通常総会を開催しました。第一号  
議案から審議をして頂き、活発な意見も出て、  
第五号議案まで、無事可決しました。

会始まって以来の料金改定も無事承認されま  
した。来賓の議員の方のご祝辞も頂き、二時  
十分に終了しました。  
会場のセッティングの為に一度退席して頂き  
懇親会の準備に入りました。八人ずつのグル  
ープで着席出来る様に机を

### 平成26年度 役員名簿

理事長	隅 一清	(総括)
副理事長	員見芳房	(言語療法士)
理事(新任)	宇津木雅之	(移送担当)
"	大熊郁美	(利用者)
"	加藤衛	(書道教室)
"	亀井歌子	(会計担当)
"(新任)	杉田春義	(連携担当)
"(新任)	實井茂人	(介護施設)
"(新任)	望月明夫	(介護タクシー)
"	山口愛子	(利用者)
監事	高橋知恵子	(利用者)
"(新任)	樺村兌子	(移送担当)



本年の助成金も、申請通り支給されることに  
なり、六月中旬には、半額が振り込まれま  
した。  
福祉車両も四台になつたので、現在透析通院  
の方は五名おられます。支障なく、送迎が  
出来ています。  
楽しい旅行も、各種事業も、頑張つて続けて  
参りますので宜しくお願い致します。



ひまわり通信  
SSKS  
No.73



# 人々のつながり

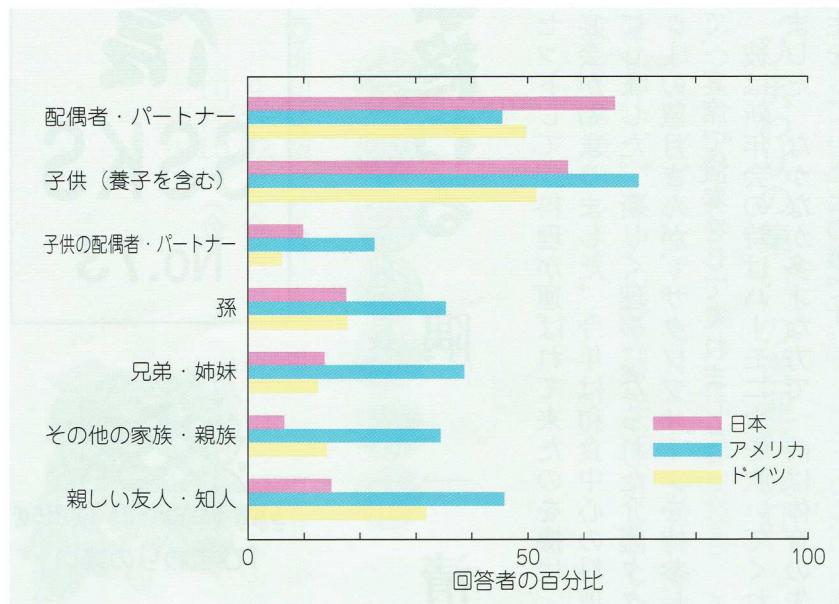
副理事長 貞見芳房

現在の経済の潮流は大幅な規制緩和と市場原理を重視する新自由主義と言われています。地域では各家庭を覆うバリアが高くなり、人間関係の希薄化が指摘され、高齢者の孤独が問題となっています。

内閣府編集の平成24年版高齢社会白書に、60歳以上の男女に「心の支えとなっている人」を回答（複数回答）させた「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」（平成22年）が報告されています。図示したグラフは日米独の3カ国を抜粋し、調査の結果を作図したものです。

心の支えは、「相談しやすい」「生きがいである」など、人により捉え方に多少の差はあると思いますが、多くの人が家族の成員が心の支えとなっているのは3カ国に共通します。ただ、友人や知人の回答がアメリカは全回答者の46・5%、ドイツの32・3%に対し、日本は15・5%となっています。日本のこの低い数値は、家族の悩みや不安を家庭の中だけ抱え込みがちな日本の家庭の内向的な傾向を示唆しているように思えます。

人々のつながりは、人柄もなれ親しんだ人格的長期的な関係と、様々な業界のおもてなしに見られる非人格的短期的な関係に大別されます。ストレス社会とも言われる現在、とりわけ高齢者では前者の人格的なつながりの重要性が増しています。ストレス社会と人々との親密な交流の中で快適さは共感を得て倍加し、その思い出は共有されます。悩みを打ち明けますと、相手も体験を語ってくれて考え方や判断の偏りに気づかされ、不快な問題となっています。



思いが和らいで心に余裕が生まれることがあります。相互に人となりが見えてきますと、何某かの役目を与えたたり、与えられたり、より緊密なつながりに発展します。

年輪を重ねるにつれ、幸福感をもたらすものは所有的獲得的なものから奉仕的なものに変わることもあります。他の人に自分を委ねるだけでも、相手に必要とされているといったいう説があります。生きがいを感じさせることができます。多くの人が参加するヒューマンハーバー世田谷のひまわりの集いの意義にも通じると考えています。

生きがいが知れ、気がねなくつきあえる人の存在は日々の生活を癒す大きな要因だと思いま

す。多くの人が参加するヒューマンハーバー世田谷のひまわりの集いの意義にも通じると考えています。

生きがいを感じさせることができます。多くの人が参加するヒューマンハーバー世田谷のひまわりの集いの意義にも通じると考えています。

## ひまわり句合

菅野孝夫選

白靴や去年の疵をそのままに

宮沢みどり

森林浴胸にしみいる緑色

梅雨晴間一音高き軍歌かな

蕎麦つゆに夏大根の鬼下ろし

矢我崎和子

慰靈堂動かぬ歩哨炎天下

太田和子

あださゐの色保ちつつ雨の中

小田原郁代

箱根路の霧巻きのぼる月見草

大谷のり子

春の波力あるとき岩を越す

亀井歌子

落ちるだけ落ちて雨止む柿の花

堀之内千代

風に色ありと思へり花ざくろ

小田原郁代

真夏日のビル解体のドリル音

太田和子

エレベーターみんな無口に熱帯夜

矢我崎和子

鞆から犬の顔出す冷房車

太田和子

街路樹の青葉若葉や永田町

小田原郁代

ベイブリッジランチクルーズ風薰る

大谷のり子

七夕の太く大きな願ひこと

亀井歌子

一輪の電車の走る青田かな

堀之内千代

多摩川の豊かな水や鮎のぼる

小田原郁代

潮風や梅雨の晴間の三崎港

太田和子

つづじ咲く二ヶ月ぶりの外気かな

矢我崎和子

炎暑かな宇治金時の緑濃く

太田和子

朝顔やほどよく焦がしパンを焼き

亀井歌子

來し方や筋目にいつもアマリリス

小松原錦子

梅雨晴間一音高き軍歌かな

小松原錦子

早朝の行き来くらなし濃く匂ふ

小松原錦子

# 行事報告

## 春の一泊一日研修旅行、千葉勝浦へ

5月24日・25日



今年の春の研修旅行は、千葉、勝浦になりました。新緑の養老渓谷を抜けて海岸に出るコースを選んだので、大型バスは通行禁止なので、中型バスで野沢を出発しました。最初に、海ほたるで休憩をして、木更津から、久留里を抜け、養老渓谷へ、途中、日帰りの入浴施設で昼食を取り、鯛の浦に出て、誕生寺を見学しました。

勝浦のかんぽの宿は、高い山の上にあり、はるか遠くに海が見えるロケーションでした。夜の宴会も、恒例のカラオケも、芸達者の歌姫？達の活躍で幕を閉じました。

翌日は、近くにある花野辺の里に立ち寄り、見事な雛人形展示を見たり、散策をしたりしました。昼は九十九里にある太陽の里で戴きました。食後は、太平洋を間近に見ての足湯などに入つて楽しみました。

参加者 22名



当会では、初めての福祉バスでのドライブは八ヶ岳清里高原の旅になりました。清里高原では、昼食の場所が見つからず、下見の時とは逆コースで、小淵沢の道の駅で昼食を食べて、花の公園を散歩して、帰りに清泉寮のソフトクリームを食べることにしました。

福祉バスは大型で、座席は三十七席、車イスは五台固定出来ることです。

通路も狭く、ステップも高いので、車イスに乗つての乗降は利用者にも喜ばれました。朝から雨模様の天気でしたが、昼食後の散策の間は晴れ間も出て、傘要らずでした。

清里まで登つてくると雲も厚くなり、清泉寮では、バスから降りずに、車内でソフトクリームを頂きました。帰路も雨雲と追いかけっこをしながら、東京に帰つて来ました。

参加者 33名

前回のひまわり通信でお知らせした福祉有償運送運営協議会が七月四日、区役所第三庁舎ライトホールで開催されました。

今回は、当会と大先輩の世田谷ミニキヤブ区民の会の二団体が登録更新となりました。昨年度まで、私がこの協議会の委員をしていました経験では、他の五団体の登録更新の審議は形式的なものでした。国土交通省はこの福祉有償運送事業登録業務を平成26年度から、希望する市区町村に移管する予定なので、以前ほどやかましくなくなりました。

しかし、当会の審査では、タクシー協会の方も、国土交通省の職員も、何かとクレームをつけ、四十五分間、孤軍奮闘で答えました。そとでるの鬼塚氏に助けて頂きながら・・・。

次のミニキヤブさんは15分で終了でした。事務局のいない当会では、私が一人で、店番の合間や、移送サービスコーディネーターの合間に、少しづつ資料を揃え、百二十頁の資料を作るのに2カ月はかかりました。

それでも、これも駄目、あれも不足とかで、協議会前日まで、訂正資料を出す始末でした。先輩のミニキヤブさんの資料を見て、ビックリ！まとめられた資料は、当会の3分の1で、完璧に出来ていました。

ベテランの事務局員がいて、作成するとか。パソコンも打てず、手書きで、文章を作成している私の資料とは雲泥の差でした。

ともあれ、無事登録更新出来たことをご報告致します。



## 福祉バスで日帰りドライブ 小湊沢から清里 7月13日(日)

## 福祉有償運送運営登録更新！

# 行事予定

9月・10月・11月

## ◎9月、日帰りバスハイク

### 甲府ぶどう狩りの旅



—昨年の下見旅行？の  
時の写真です—

・日程

9月28日(日) 野沢発9時  
野沢→中央高速→甲府ぶどう園  
(昼食)ぶどう狩りとワイナリー見学  
見学→中央高速→野沢

・日程

一人 7,000円  
自宅→バス乗り場までの移送は別途1000円(往復)  
一人 7,000円  
自宅→バス乗り場までの移送は別途1000円(往復)

・会費

一人 7,000円

◎ 参加ご希望の方は、9月15日までにご連絡下さい。

## ◎10月、一泊二日 秋の研修旅行

### 越後湯沢→苗場山紅葉見学！

・日程

10月25日(土)→26日(日)  
野沢→関越道→湯沢→大源太→苗場

・会費  
一人 2万円  
※チヤリティーアソシエーションを使用しますので、締切  
りは9月末です。

## “ひまわりの集い”的送迎料改訂

いつも、“ひまわりの集い”にご参加頂き、ありがとうございます。七月より、移送料の改定に伴い、“集い”的送迎料金も改訂しました。宜しくお願ひします。

◎ 書道・俳句等の集い送迎料、片道550円

◎ 新年会・暑気払い・総会・忘年会等は

河口湖周辺紅葉見学

11月16日(日) 8時30分  
野沢→中央高速→大月→河口湖  
遊覧船で半周→散策→昼食  
買い物→野沢

・日程

車イス専用の方 8千円  
車イス乗降可能な方 7千円  
及び他の健常者 7千円  
自宅→バス乗り場までの移送は別途1000円(往復)

・会費

自宅→バス乗り場までの移送は別途1000円(往復)

◎ 参加ご希望の方は、10月下旬までにお申込み下さい。

第二回福祉バスの旅

河口湖周辺紅葉見学

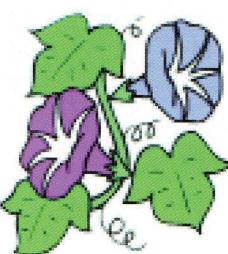
私は20代から30代の後半にかけて、社会人の山の会を立ち上げて、15年間、会長の役で、年間40日から50日位、山に入つていきました。新宿発23時45分の中央線などは、大きなザックを背負つた若者であふれていました。座席の下にもぐつて寝るのは当たり前で、通路も、網棚にも人が寝っていました。甲府を過ぎる頃から、明るくなつて、右手に八ヶ岳、左手に南アルプスを観ながら、松本に到着、北アルプスに向かつたものでした。そんな山仲間と年一回、渋谷で飲み会を開いて、昔話に花を咲かせています。北海道から出て来る人もいます。菅平の山の中で隠居生活を送っている人もいます。朝から多摩川で、うなぎや鯉を取つて、売つている人もいます。今年で五十三年になるとかで、今秋は、山で星を見ながら、イッパイヤろうと計画しています。老いた?山ガールを交えての山での飲み会は活力源になるか、冥土の土産話になるか?楽しみです。S記

## 各教室のご案内

### ◎俳句に親しむ会

世田谷ボランティアセンター

※書道教室は  
しばらく休みます。



# 編集後記

## 「ひまわり通信」73号

2014年8月16日発行

編集

集

特定非営利活動法人

ヒューマンハーバー世田谷

編集責任者

隅一清

世田谷区野沢3-4-18  
102

03-3487-5081

発行	F	T	住人	所
A	E	X	L	
10月10日	9月12日	(金)	(金)	
世田谷区砧6-26-21	世田谷区砧6-26-21	(定価100円)	(定価100円)	